

第5学年 社会科学習指導案

1, 単元名 私たちの暮らしと工業生産（2） 「自動車の生産に励む人々」

2, 単元目標

- 我が国の自動車生産の様子に関心をもち、それを意欲的に調べ、自動車生産の発展を願うことができるようにする。 (関心・意欲・態度)
- 我が国の自動車生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることができるようにする。 (思考・判断)
- 自動車生産に従事している人々の工夫や努力について理解することができるようにする。 (知識・理解)
- 自動車生産に従事している人々の工夫や努力、自動車生産を支える関連企業の働きについて調べ表現することができるようにする。 (観察・資料活用・表現)
- 必要な情報を電子掲示板やインターネット・書籍などを活用しながら収集・蓄積し、多くの情報の中から必要な情報を選択し、再構成して表現することができる。 (情報)

3, 指導観

○ こんな子どもだから

<関心・意欲・態度>

子ども達は、前単元「私たちの暮らしと食料生産」の学習において、生産者の工夫や努力について追求してきた。その過程で、我が国の農・水産業が国民の食生活を支える重要な役割を果たし、自分の食生活と深く関わっていることに関心を高めていった。さらに、子ども達は農・水産業だけでなく、様々な産業が自分たちの生活に深い関わりを持っていることを意識しはじめている。

本単元で取り扱う自動車産業は国民生活を支える重要な役割を果たし、子ども達にとって関心の高い産業の一つである。そこで、身近な存在である自動車に目を向け、問題点を明らかにすることで、これからの自動車産業に目を向けさせていきたい。そのことにより、子ども達は意欲的に学習を進め、我が国の自動車生産の発展を願うことができるようになると思う。

<思考・判断>

子ども達は、自動車についての問題点（環境への影響・安全性など）を明らかにすることで、生産者の工夫や努力に目を向け自分の視点を持ち追求していくと考える。その中で「自動車の生産に励む人々は、環境への配慮、国民の願いなどを生かしながら生産を行い、国民生活を支える重要な役割を果たしている」という見方・考え方をすると考える。子ども達のこの見方・考え方をいかにしながら学習を進めていきたいと考える。

<観察・資料活用・表現・情報>

これまでの学習の中で子ども達は、学習問題に対して自分の予想を持ち、資料をもとに意欲的に追求する姿が見られた。さらに本単元では、多くの情報の中から自分に必要な情

報を選択・再構成し、表現する能力を身に付けさせたいと考える。そのことによって、自動車生産に従事している人々の工夫や努力、自動車生産を支える関連企業の働きについて調べ、交流場面で自分の考えをわかりやすく伝えることができると思う。

<知識・理解>

子ども達は前単元で、農・水産業に励む人々が国民の食生活を考えて工夫や努力を重ねていることや農水産業を支える様々な人々の働きについて学習している。そこで本単元において前単元の学習で身につけた見方・考え方を生かすことで、自動車の生産に励む人々の工夫や努力、工業生産を支える関連企業の働きに目を向けると考える。

○ こんな単元で

本単元は、我が国の自動車生産の様子に関心をもち、自動車産業が国民生活を支える重要な役割を果たしていることや自動車生産に従事している人々の工夫や努力、自動車生産を支える関連企業の働きを理解することをねらいとしている。

子ども達にとって身近な存在である自動車へ目を向けさせ、環境との関係や安全性について考えさせることで、生活になくってはならない自動車が様々な問題を抱えていることに気づかせたい。そして、よりよい自動車を生産するためにどんな工夫や努力をしているか予想を持たせ、課題を追求する活動を行わせる。その中で、自動車量販店に見学に行ったり、電子掲示板を活用した学習サポーター（自動車会社の方や工業高校の自動車工学科の生徒）との交流を行ったりすることで自動車の生産に励む人々の努力や工夫・願いにふれ、こらからの自動車生産について理解することができると思う。このことは自動車産業が国民生活を支えていることを理解する上で意義深い単元であると思う。

また、自動車産業で働く人々が環境保全のための工夫や努力をしていることを学習することをきっかけとして、身近な環境保全へ目を向けさせたい。この学習を通して、自分たちの生活と環境についてのかかわりを振り返り、身近な環境保全の実践力を育てる環境学習へ活かすことができる意義深い単元であると思う。

○こんな方法で

本単元の指導にあたっては、自動車の問題点を明らかにすることから学習問題を作り、課題を追求する中で効果的に情報を活用し、よりよい自動車の生産のための工夫や努力について考えることができるようにする。

<である 過程>

- まず、子ども達に A 工業高校自動車工学科の生徒から電子掲示板を通して出題された自動車クイズを解かせることで、自動車への関心を高めさせる。



そして、自動車と生活との関わりを振り返りながら「ディベート 自動車は必要か」

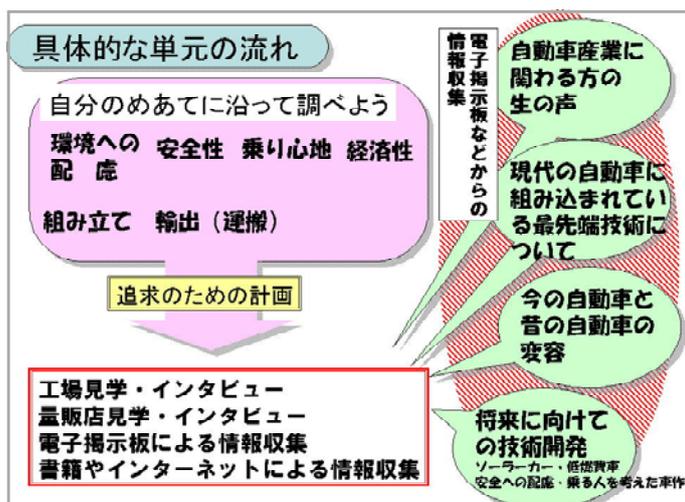
を行い、現代社会において自動車は不可欠なものだが環境への影響など様々な問題を抱えていることに気づかせたい。そして、よりよい自動車の生産のための工夫や努力についての興味・関心を持たせたいと考える。

<つかむ 過程>

- ・ デイバートを通して、子ども達によりよい自動車を作るために自動車の生産に励むの人たちはどんな工夫や努力をしているかという視点に立った学習問題を持たせたいと考える。そして、その学習問題に対する予想を考えさせることによって、子ども達に追求課題を明確にさせ、自分の追求の視点を持たせたいと考える。

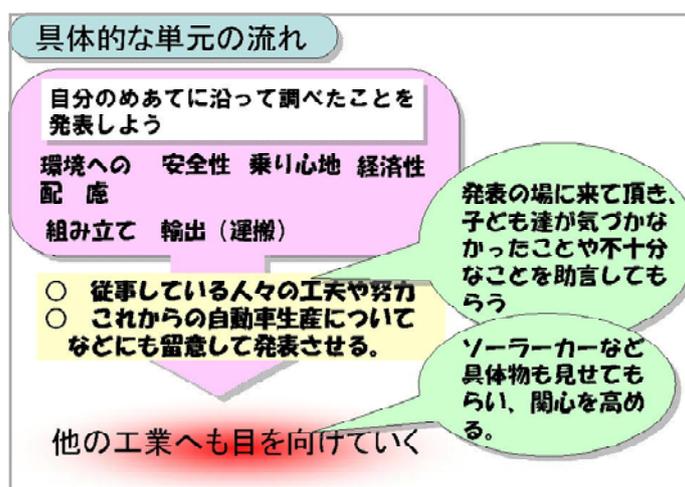
<追求する 段階>

- ・ 追求の視点を明確にし、子ども達に調べる計画をさせていく。また、課題を解決するために、自動車量販店に見学に行ったり電子掲示板を通して学習サポーター（自動車会社や A 工業高校自動車工学科の生徒）から様々な情報を収集したりするなど資料やインターネットを効果的に活用させたい。また、自分の考えを深めたり、広めたりするために同じ課題について調べているグループでの交流活動を位置づけていく。



<ふりかえる 段階>

- ・ 調べたことをもとに、発表会を持ち、自動車の生産に励む人々の工夫や努力について話し合わせる。さらに、発表会に電子掲示板で交流を行った学習サポーター（自動車会社の方や A 工業高校自動車工学科の生徒）をゲストティチャーとして向かえ、直接、子ども達との交流を持つ。その中でハイブリット車を実際に



見学する機会を持ち、自動車の生産に励む人々の工夫や努力についての考えを深めさせたい。

<いかす 段階>

- ・ 自動車産業が自分たちの生活を支える大きな役割を果たしていることや環境や乗る

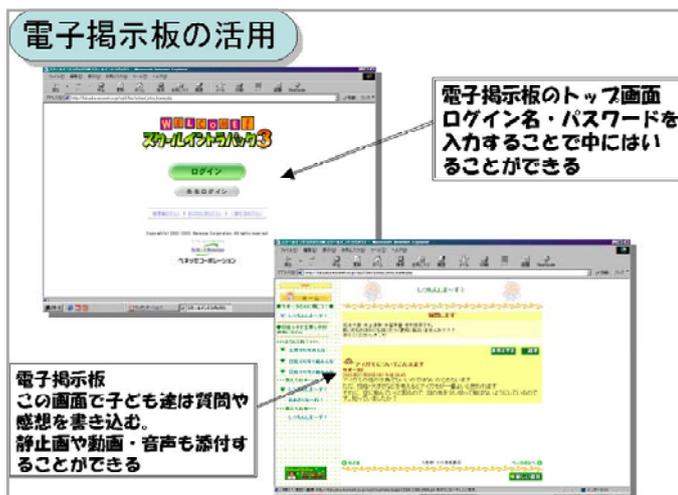
人のことを考えた自動車の生産を行っていることを振り返ることで、他の工業製品にも目を向けさせていきたい。また、環境のことを考えた自動車の生産について学習した子ども達に自分の生活と環境の関わりについて振り返らせることで、身近な環境保全へ取り組むきっかけとしたい。

4, 情報収集について

本単元の学習を行うにあたって、これまで工場見学を中心にホームページや書籍の閲覧を通じた活動が多く見られた。しかし、この活動では以下の点が問題点として考えられる。

- ・ 工場見学の後さらに知りたくなったことを聞くことが容易ではない。
- ・ ホームページや書籍の閲覧などは一方の情報の供給であり、子ども達が知りたい情報が収集できない場合がある。

そこで、本単元の学習では、日常的な交流の中で専門的な知識をもった方との交流が可能となる電子掲示板を活用した交流活動を位置づけることにした。子ども達は、知りたい情報を電子掲示板を通して質問し、専門的な知識を持った学習サポーターからの返答をもらうことで情報収集を行う。それにより、子ども達は必要としている情報を得ることができ、知識理解を深めることができる。と考える。



本単元では以下の方を学習サポーターとして電子掲示板を通じた交流を行い、振り返る段階での発表会にゲストティーチャーとして迎えることにする。

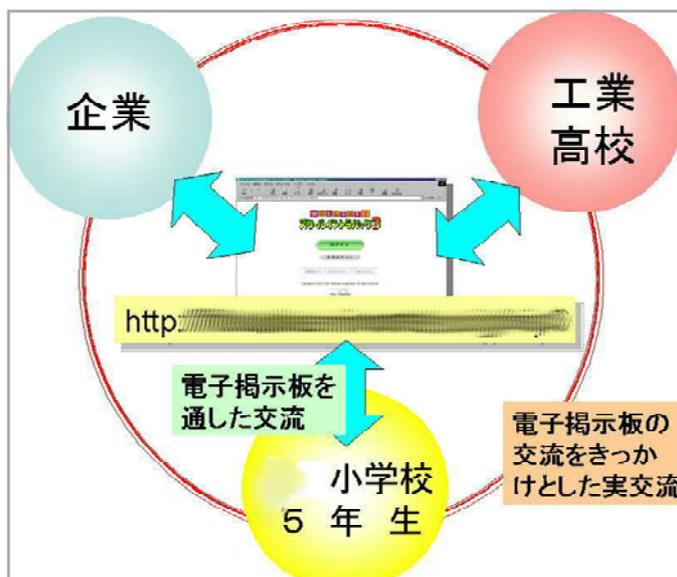
・ B 自動車 C 福岡

のDさん

自動車整備の統括をされていた。本社勤務のため輸送・開発などについても詳しい。自動車の生産に携わる人々の生の声、情報を聞くことができる。

・ A 工業高校自動車工学科 の生徒

A 工業高校自動車科はホンダ自動車主催低燃費エンジン大会に優勝など先進的な技術を生徒自身が授業の中で学習をしている。また、3年間の学習の中で自動車の構造・昔の今の自動車の違



いなどを学習している。それら学習で身につけた知識を電子掲示板での交流によりより深かめると考える。

この交流は、小学生だけでなく情報を発信する側の工業高校自動車工学科の生徒にとっても有意義なものになると考える。

5, 学習計画 (12時間)

段階	配時	ね ら い	主な学習活動と内容
であう段階	1時間	○自分の生活と自動車との関わりを振り返りながらディベート「自動車は必要か」を行うことを通して、よりよい自動車の生産のための工夫や努力についての興味・関心を持つことができる。	1, ディベート「自動車は必要か」を行う。 (1) 自分の経験や資料から考えたことをもとに、必要・不必要を決めディベートを行う。 ・自分の生活の中での自動車の役割を振り返える。 ・資料自動車の生産の推移や交通事故の推移などを参考にする。
つかむ段階	2時間	○ディベートを通して、よりよい自動車を作るために自動車の生産に励むの人たちはどんな工夫や努力をしているか考え、自分の課題を持つことができる。	2, ディベートの結果をもとに、学習問題を作り、予想したことについてを話し合う。 (1) 学習問題を作る。 学習問題 よりよい車を作るためには自動車を 作っている人はどのような工夫や努力をしているだろうか。
追求する	6時間	○自分の課題を解決するために必要な情報を収集しながら考えを深めることができる。	(2) 予想について話し合う。 ・環境を大事にしたソーラーカーを開発している。 ・事故にあってもけがをしないような工夫をしている。 ・長い距離を乗っても疲れのないような工夫をしている。 3, 調べるための計画を立てる。 <追求の視点> 環境保全 ・ 安全性 ・ 乗り心地 現在過去未来の車等 <方法> ・自動車量販店へのインタビュー ・電子掲示板による情報収集 ・書籍やインターネットによる情報収集

段階			<p>4, 計画に基づいて調べ, 考えをまとめる。</p> <p>(1) 課題解決のために, 見学に行ったり電子掲示板を活用したりして, 情報を収集し, データベース化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E九州工場へのFAXによる質問 ・ 電子掲示板での交流 <ul style="list-style-type: none"> C 福岡の D さん A 工業高校 自動車工学科 ・ インターネット <ul style="list-style-type: none"> 校内LAN内のリンク集の活用 ・ 書籍 <ul style="list-style-type: none"> 教室内の調べ学習コーナーに設置 ・ 自動車会社の方へのインタビュー <p>(2) 同じ視点で調べたグループと交流を持ち, 自分の考えを見直し, さらに深める。</p> <p>(3) 同じ視点で調べたグループで調べたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ データベース化したものを活かして, まとめる。 ・ パワーポイントを活用し調べたことをまとめる。
ふりかえる段階	2時間	○調べたことをもとに発表会を行いよりよい自動車作りを行うために自動車生産に励む人々の工夫や努力に気づくことができる。	<p>5, 調べたことを発表し自動車の生産に励む人々の工夫や努力について話し合う。</p> <p>(1) 追求の視点をもとに発表会を行う。</p> <p>環境保全 ・ 安全性 ・ 乗り心地 現在過去未来の車</p> <p>(2) それぞれの視点に共通している事柄を考え, 自動車の生産に励む人々の工夫や努力について話し合う。</p> <p>(3) ゲストティーチャーからの助言を聞く。</p>
いかす段階	1時間	○自動車産業が自分たちの生活を支えるために大きな役割をしていることや環境・安全性などを考えた自動車生産を行っていることをもとに, 他の工業製品にも目を向けることができる。	<p>6, 自動車の生産について学習したことをもとに, 身の回りにある工業製品に目を向け, それらを作っている人々の思いや願いについて話し合う。</p> <p>(1) 身の回りの工業製品に目を向け, 生産者の思いや願いについて考える。</p>

6, 本時

平成16年10月15日

14時15分～15時15分

5年2組

7, 本時のねらい

- 調べたことをもとに発表会を行い、それぞれの視点に共通した自動車の生産に励む人々の工夫や努力に気づくことができるようにする。
- 視点を持って調べた自動車生産に励む人々の工夫や努力について、プレゼンテーションソフトを活用し、効果的に聞き手に伝えることができるようにする。

8, 本時指導の考え方

本学級の子ども達は、ディベート「自動車は必要か」を通して、「よりよい車を作るためには自動車を作っている人はどのような工夫や努力をしているだろう」という学習問題を持った。課題解決のために、学習サポーター（C 福岡 D さん, A 工業高校自動車工学科の生徒）との電子掲示板を通じた交流活動を行ったりインターネットや書籍で調べたりする中で、自動車の生産に励む人々の工夫や努力・願いを知り、自分の考えを深めてきた。また、子ども達は、同じ視点を持って調べた友達との交流を行うことで、自分の考えを見直しさらに課題解決のために追求活動を行っていった。

本時は、子ども達がこれまでに調べてきた視点（安全・環境・乗る人のことを考えた車作り・自動車の現在過去未来）を互いに交流することで、それぞれの視点に共通した自動車の生産に励む人々の工夫や努力について考えを深める時間である。この中で子ども達に自動車の生産に励む人々は、乗る人のこと・地球のことを考え様々な工夫や努力を重ねながら自動車の生産を行っていることに気づかせたい。

そこで、まずそれぞれの視点で調べたことを、グループごとに発表させる。その際に、発表するグループのプレゼンテーションを印刷したものを子ども達に配布し、発表を聞きながら自動車の生産に励む人々の工夫や努力について自分の考えと似ているところに印を付けさせるようにする。そうすることで子ども達は、それぞれの視点に共通した努力や工夫について気づいていくと考える。また、それぞれのグループが見つけた工夫や努力について板書の工夫をすることで共通した事柄について気づかせていきたい。

次に、各グループの発表に共通する自動車の生産に励む人々の工夫や努力について話し合わせる。その際に、各グループが見つけた工夫や努力について書かれた板書や配付された資料（各グループのプレゼンテーションを印刷したもの）を振り返らせ、自分の考えの根拠をはっきりさせながら発表させるようにする。そのことで、自動車生産に励む人々の工夫や努力についての考えが深まると考える

そして、これまで電子掲示板で交流を重ねてきた学習サポーター（C 福岡の D さんや A 工業高校の生徒）から発表や交流の感想とともに自動車産業に携わる方の生の声を聞くことで、さらに子ども達の考えを深めさせたい。また、環境に配慮し、乗るのことを考慮した多彩なシートアレンジが可能なハイブリット車「F-V」を実際に見学する時間をもうけることにする。このことによって、子ども達は、自動車生産に励む人々の工夫や努力について実感できると考える。その中で、これまで電子掲示板の交流で得た情報

を実感できる機会を持つことは、専門家との交流学习の良さを体感することにつながり、子ども達にとって有意義であると考えます。

なお、授業後、子ども達が調べまとめたプレゼンテーションは校内LANのサーバに蓄積し、一つのコンテンツとして他学年や同学年の子ども達が活用できるようにする。

9、本時の展開

学習活動と内容	評価	支援
<p>1, 前時を振り返り, 本時のめあてを確認する。 本時のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>友達の発表と自分が見つけた工夫や努力とを比べながら聞き, 自動車作りに励む人たちの願いについて考えよう</p> </div> <p>2, 調べたことをもとに, 自動車生産に励む人々の工夫や努力について発表する。</p> <p>(1) グループごとに発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在過去未来の自動車 <ul style="list-style-type: none"> ・ 車の変容から自動車を生産している人々は研究を重ね人や環境に優しい車作りが行っている。 ○ 環境のことを考えた自動車の生産 <ul style="list-style-type: none"> ・ 排気ガスの軽減が行えるように努力をして, 地球の環境を考えた自動車生産をしている。 ○ 安全に気をつけた自動車の生産 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故を未然に防ぐ工夫や乗っている人のけがを少なくする努力をし, 乗る人のことを考えた自動車生産をしている。 ○ 乗る人のことを考えた自動車の生産 <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗る人が使いやすく, 誰もが快適に自動車を使うことができるような工夫や努力をし, 乗る人のことを考えた自動車生産をしている。 <p>(2) 各グループの発表に共通する, 自動車作りに励む人々の工夫や努力について話し</p>	<p>(思考)</p> <p>自動車の生産に励む人々の工夫や努力について自分の考えと友達の考えを比べ, 共通した事柄を見つけることができる</p> <p>(配布物・発表)</p> <p>(情報)</p> <p>校内LANからグループの発表するプレゼンテーションを取り出すことができる。</p> <p>(表現)</p> <p>考えの根拠となった資料(電子掲示</p>	<p>○これまでの学習を掲示物として教室の側面にかけておき, 子ども達が学習を振り返りやすようにする</p> <p>○発表するグループのプレゼンテーションを印刷したものを各自に配布し, 発表を聞きながら自動車の生産に励む人々の工夫や努力について似ているところに印を付けさせる。</p> <p>○自動車の生産に励む人々の工夫や努力について共通点を見つけやすいような板書の工夫を行う。</p> <p>○板書や書き込みをした配付資料を</p>

<p>合う。</p> <p>○ 自分と他のグループの発表を比べ、共通している自動車作りに励む人々の工夫や努力について根拠をはっきりさせながら発表する。</p>	<p>板の交流・写真やホームページなど)や発表の内容をはっきりとしながら発表することができる。</p>	<p>振り返らせる。</p>
<p>3, 学習サポーターの話を聞く</p> <p>○ 発表の感想や自動車の生産への思いや願いを聞く</p> <p>< A 工業高校の生徒 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車の実用化について ・環境に配慮した車作りについて ・交流の感想について <p>< C 福岡 D さん ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・客のニーズを活かした車作りについて <p>○ ハイブリット車「F-V」の見学をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子掲示板の交流などで得た情報をもとに実車の見学をする。 	<p>(思考)</p> <p>学習サポーターの話を聞き、自分の考えを深めることができる。</p> <p>(表現)</p> <p>深まった自分の考えを書くことができる</p>	<p>○ D さんや A 工業高校の方の思いや願いがわかるように板書を確認させる。</p> <p>○ F-Vを見学する中で、調べてきたこととの共通点について言葉をかける</p>
<p>4, 発表したことや学習サポーターの話をもとに学習のまとめを書く。</p>	<p>(ノート)</p>	